

理事

	<p>氏名 北山 哲也</p> <p>年齢 43</p> <p>勤務先名称 山梨リハビリテーション病院</p>		<p>氏名 名取 大輔</p> <p>年齢 38</p> <p>勤務先名称 石和共立病院</p>		<p>氏名 小林 司</p> <p>年齢 38</p> <p>勤務先名称 石和温泉病院</p>
<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>	
<p>私は生涯学習部長、学術局長など十数年に渡り、山梨県理学療法士会の学術分野においてお手伝いをさせて頂きました。この経験を糧に再度、理事に立候補させて頂き、会員の皆様にとって有益な研修会、学術集会などを開催できるよう努めていきたいと思えます。</p> <p>近年、生涯学習システムに関しては、システムの改定などもあり、ルールが複雑となっています。会員の皆様には最新情報をシンプルにお伝え出来るようホームページなどを活用していきます。また、アンケートなども適宜実施し、会員の皆様の声を真摯に受けとめ、個々の知識、技術向上の一助となる企画を熟考していきます。</p> <p>山梨県理学療法士会が学術団体として社会から一目おかれるような素晴らしい団体となるように微力ながら携わることができれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。</p>		<p>2 期目の理事に立候補させていただきました名取大輔です。</p> <p>昨年度までは学術局理事として学術集会及び学術研修会の運営に携わらせて頂きました。</p> <p>私たち理学療法士の質の向上、その柱である臨床力・教育力・研究力の向上に少しでも貢献できるよう、より臨床に活かせる内容でより多くの皆様に参加していただける学術集会や学術研修会を追求していきたいと考えております。</p> <p>これまでの経験を生かし、微力ではありますが、理事として引き続き本会のお役に立てればと考え、再度立候補させていただきました。会員の皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。</p>		<p>訪問理学療法士会委員長を 4 期 8 年、地域支援事業等推進委員を 2 期 4 年、携わらせて頂いています。地域包括ケアシステム推進の中で、ここ数年リハビリテーションは医療保険から介護保険へ、さらに地域に根差した自立支援型へと変動し理学療法士の活躍する場所が増えています。</p> <p>一方、平成 30 年介護保険法改定では、在宅リハビリテーションにおいて、医師の関与を明確に位置付け、また、訪問看護ステーションからの理学療法士等の訪問については、看護との協働によるアセスメントの強化等、様々な手が加えられ、更なる発展に待ったをかける状況となりました。</p> <p>在宅リハビリテーションに携わる理学療法士が働きやすい環境を見出せるように、山梨県理学療法士会理事として問題提議していく次第です。地方から中央へ。どうぞ宜しくお願い申し上げます。</p>	

理事

	<p>氏名 菊池 信</p> <p>年齢 38</p> <p>勤務先名称 山梨リハビリテーション病院</p>		<p>氏名 小林 伸一</p> <p>年齢 57</p> <p>勤務先名称 巨摩共立病院</p>		<p>氏名 高村 浩司</p> <p>年齢 47</p> <p>勤務先名称 健康科学大学 理学療法学科</p>
<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>	
<p>私は学術局学術集会部の部長として8年間、県内学会の運営に携わってきました。その間に第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会では副運営局長を担い、また第1回、第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会では運営委員として活動させていただき、学術の発展や多職種・関連団体との連携に務めて参りました。これまでの経験を生かし、医療・介護保険分野の連携を促していくと共に、一方では最新の医学的な知見を学べるような機会を提供できるよう、学会の運営に携わっていただきたいと思います。微力ながら、私自身もより成長できるよう会員の皆様と共に学ぶ姿勢で頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>		<p>各理事並びに会員の皆様の支えのもと、士会長として3期目2年間微力ながら奮闘させていただきました。多岐に渡るご協力に感謝申し上げます。この間事務局機能の整備、学術団体としての研修会や理学療法・理学療法士の啓発活動等例年取り組まれております各局の活動を粛々と進めてきました。また、三士会合同で山梨県リハ専門職団体協議会を立ち上げ、訪問リハ・合同学術大会・災害対策・特別支援教育・地域支援事業等の取り組みも行いました。各理事並びに会員の皆様のご支援により士会活動の後退無く運営できたと思っております。しかし一方で、PT協会や関ブロ、団体協議会の事業遂行、会員増や事業拡大に伴う士会組織再編、専任事務員の配置など課題が山積しております。この課題に対して、一定の道筋を付けて退任させていただきたく立候補致しました。ご支援の程、宜しく願い致します。</p>		<p>理学療法士を取り巻く環境は、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題を念頭に地域包括ケアシステムの構築や理学療法士数の増加に伴う質への懸念など過渡期をむかえています。今後の理学療法士の身分を担保するためには臨床、教育、研究の柱の中で質の高い理学療法を提供し、連盟や他団体との連携を強固に図ることが重要と思われまます。</p> <p>一般社団法人山梨県理学療法士会の理事としてスムーズな運営の推進と日本理学療法士協会との連携を密にはかり理学療法士の安定した身分確保に尽力したいと思います。</p>	

理事

	<p>氏名 古屋 伴仁</p> <p>年齢 42</p> <p>勤務先名称 韮崎市立病院</p>		<p>氏名 磯野 賢</p> <p>年齢 49</p> <p>勤務先名称 甲州リハビリテーション病院</p>		<p>氏名 井村 順治</p> <p>年齢 42</p> <p>勤務先名称 恵信甲府病院</p>
<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>	
<p>この度、士会活動の運営へ引き続き携りたく、理事へ立候補いたしました。理事として社会局長を務めさせて頂いた4年間、委託事業部、スポーツ理学療法部に関わり、外部団体からの依頼に対応してきました。</p> <p>理学療法士が必要とされていることを実感する一方、まだまだ理学療法士の能力や役割が示しきれていないとも感じています。健康増進や障がい予防、またスポーツ分野への活動なども行い、社会貢献を果たし、理学療法士が地域社会に必要とされ、より活躍できる環境をつくりたいと考えております。より良い士会活動となるために、微力ではありますが士会員の皆様と共に士会運営に取り組んでいきたいと考えております。</p>		<p>地域包括ケアシステムの推進・深化に向けて加速度を増すように診療報酬・介護報酬の同時改定が行われた。この地域包括ケアシステムの中で理学療法士或いは理学療法、また、県士会は、共助の部分を担当することはもちろんのこと自助・互助にもアプローチできる体制を築いていく必要がある。そのためにも県士会は機能を強化し、県市町村や関係団体との関係性を密にしながら進めていく必要がある。このような転換期においてその役割の一端を担わせていただきたいと思いますと思い理事に立候補する。</p>		<p>私は山梨県理学療法士会において平成17年度・18年度厚生部長、19年度から24年度の間、公開講座部長、そして25年度からは企画局長として主に会の企画に関する活動に関わらせていただきました。その間、様々なことを学ばせていただき、また、関ブロ学会や、会として初めての全国規模の行事となった全研などの大きな行事、そして法人化と、会の拡大、成長も経験させていただきました。</p> <p>今後県士会としては、急激な会員増加による新たな問題への対応、また、協会も重要項目としてあげている地域包括ケアシステムにおける理学療法士の地位の確立、我々にとって厳しさを増している診療・介護報酬への対応など多くの課題が与えられております。県士会に関わってきた13年間の経験を活かし、課題解決のため微力ではありますが会員の皆様のためになることが出来ればと考えます。</p>	

理事

	<p>氏名 大西 正紀</p> <p>年齢 42</p> <p>勤務先名称 甲州ケア・ホーム 通所リハビリテーション</p>		<p>氏名 三科 貴博</p> <p>年齢 53</p> <p>勤務先名称 健康科学大学 理学療法学科</p>		<p>氏名 有泉 静佳</p> <p>年齢 51</p> <p>勤務先名称 山梨県立あけぼの 医療福祉センター</p>
<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>	
<p>医療、介護の分野で私たち理学療法士を取り巻く環境は年々変化しています。そのような変化の中で理学療法士は様々な分野での活躍が期待され、成果も求められています。変化に対応し、期待に応えていくためには山梨県内の理学療法士の連携の強化が必要になると思います。連携の強化を図り、理学療法士同士が繋がりをもち、繋がりを持った理学療法士の提供が実施できることが理学療法士の対象となる方々によりよい理学療法士の提供が行えることに繋がると考えます。また、理学療法士全体の質の向上が必要になると思います。繋がりを持った理学療法士の提供、理学療法士の質の向上を行っていくことが理学療法士の対象となる方々の期待に応えることに繋がると思います。それには山梨県理学療法士会の組織としての強化、山梨県理学療法士会全体の質の向上が必要になると思います。それらに対して今までの経験を活かし、微力ながら貢献できればと思い立候補いたします。</p>		<p>今回山梨県理学療法士会理事に立候補させていただきました三科貴博と申します。平成 28 年、29 年度は福祉厚生局を任せていただき、県士会員の診療報酬、介護報酬、地域連携に関し要望に応えられるよう微力ながら県士会運営に参画させていただきました。その中で、50 代の半ばになる年齢ではありますが若手が多くなった県士会の中で、一味違った観点から県士会運営に携わることの楽しさ、意義を見出すことができました。</p> <p>できましたならばもう 1 期、理事を務めさせていただきます県士会と会員の皆様とを繋ぐ接着剤的な役割を果たすことができればと考えております。是非宜しくお願い申し上げます。</p>		<p>私はこの 2 年間事務管理局長として投資会の運営に微力ながら尽力させていただきました。</p> <p>会員の皆様のご協力によって、当士会は少しずつではありますが、着実に前に進んでいると感じています。</p> <p>それに伴い、当士会に対する外からの期待も大きくなっており、そのことは大変喜ばしいことですが、一方で関係各所との連絡調整や事務処理業務の増加も著しいものとなっています。</p> <p>そのため、現在士会事務所に勤務していただく事務員を募集し、会計事務所との委託契約及び事務所の整備など、事務管理機能の強化を図っております。</p> <p>しかしながら、そのいずれも道半ばの状況です。この状況を解決し、より一層の発展を当士会にもたすため、本当に微力ではありますが、何らかの形で協力したいと思い理事に立候補致します。</p>	

平成 27 年 一般社団法人山梨県理学療法士会 役員（理事・監事）選挙候補者 （届出順）

理事

	<p>氏名 鈴木 聡</p> <p>年齢 39</p> <p>勤務先名称 湯村温泉病院</p>				
立候補の趣旨		立候補の趣旨		立候補の趣旨	
<p>これまで主な士会活動としては、ニュース編集部長（現、会報部長）、ホームページ管理部長（現、事務局機能）、総務部長を努めてまいりました。これらの経験をもとに、会員の皆様が求める情報の発信や研修会の企画、また地域包括ケアシステムの構築に貢献したいと考え、山梨県理学療法士会理事に立候補いたしました。</p> <p>会員の皆様が活用しやすい県士会機能の発展に、少しでも力になれるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>					

監事

	<p>氏名 齋藤 智雄</p> <p>年齢 44</p> <p>勤務先名称 医療法人 慈光会 甲府城南病院</p>		<p>氏名 谷村英四郎</p> <p>年齢 68</p> <p>勤務先名称 自宅</p>		
<p>立候補の趣旨</p>		<p>立候補の趣旨</p>			
<p>山梨県理学療法士会は、一般社団法人を取得して、5年目を迎えています。理学療法士を取り巻く環境は変革する中、その役割も大きくなってきていると感じています。士会活動が効率的かつ適正に実施されますよう、微力ですが監事としてお手伝いをさせていただきたいと考えています。</p>		<p>私は山梨県士会が一般社団法人設立に携わりました。又、前身の士会運営に於いては士会長として関わりました。</p> <p>今後の士会運営にも強い関心を抱いており、拙い経験と微力ではありますが、次期の監事としての役割で貢献できればと思い、立候補させていただきます。</p> <p>何卒、宜しくお願い申し上げます。</p>			